

# 西光寺だより

第六十五号 平成二八年 一月一日発行

新年明けましておめでとございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

旧年中は皆々様到大変お世話になり、ありがとうございます。

寒い日が続いていますが、確実に自然の営みが行われていることを感じることでございます。昨年は皆様どのような一年でしたでしょうか。新年を迎えるにあたりさまざまな思いをもってお正月を迎えられたことと思います。

様々な思いを感じる時、同時にいのちについて思うことでございます。いつも楽しい思いでいられると良いのですが、辛く悲しい思いをすることもあります。しかし、すべての思いや感情は、いのちの土台があるからこそ生まれてくるものです。そこを見ずして自分の眼だけで人や物を見ると苦しいものが出てきます。

新年にあたり、様々な思いを少し自分自身で止めて頂き、土台になるいのちについてふれてみてはいかがでしょうか。きっと色々な人や物に対して**ありがとう**という言葉が出てくるのではないかと思います。自己をみるということでこのような生活法話があります。

『新年は、私たちがお互いに心を新たに、生活に新しい決意をもつてのぞむための区切りのようなものだと思います。人間は時々区切りをつけないと、いつの間にかなれてしまつて心がゆるんでしまうものです。その心を引きしめる時が新年だと思います。』

考えてみれば私達は毎日忙しい、めまぐるしい世の中で生活しています。私たちの目は、右を見たり左を見たり休む間もなく気を配っています。そうした中で、他人の欠点や悪いことは何でも目につくものです。ところが自分の間違いや欠点は気づかずやりにやっています。そうした間違いの

うえに間違いを重ねていくものです。「鏡を使うのは人間だけ」といわれています。鏡に自分を写してみる。つまり、自分を反省し、自分を見ることのできるのは人間だけなのです。

毎日、自分の行いや考えを反省しながらよりよい明日への向上を考える時、本当に人間らしい進歩が生まれてくると思います。(武内紹晃師)』  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## ●茨木東組念仏奉仕団参加者募集のお知らせ

平成二十七年茨木東組念仏奉仕団募集の時期になりました。例年十二月に行つておりましたが、日程の都合上この時期の募集となりました。浄土真宗本願寺派本山である京都の西本願寺にて清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、宗祖親鸞聖人のみ教えを肌で感じ、学びながら仏恩報謝の生活に生かされる浄土真宗の門徒としての生き方を改めて振りかえる場として、茨木東にある十八カ寺のお寺とその門徒さんで構成される茨木東組の恒例行事です。

今回は**三月三日(木)～四日(金)**の一泊二日で行われます。

くわしい日程などは申込用紙に記載されていますが、西本願寺内の清掃活動をしていただき、ご門主様(本願寺住職)との記念撮影、そして龍谷ミュージアム観覧、東急ホテルでの懇親会、朝早くなかなか行く事が出来ない朝六時からの本願寺でのお勤め(晨朝参拝)、国宝の書院・飛雲閣拝観など、さまざまな西本願寺でしか味わえない時間を皆様と一緒に過ごしたいと思ひます。締切は**一月二十四日(日)**です。

費用は一五〇〇〇円です。詳細は西光寺までご連絡下さい。合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七二

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

※なお正信偈解説は次回号よりさせていただきます。よろしくお願ひ致します。